

# トヨ耐熱しん 第27種

## 石油燃焼機器用しん 取扱説明書

●しんの交換をする前に、必ずこの「取扱説明書」を読んで、正しくおこなってください。(しん交換のしかたがわからない場合は、販売店にご相談ください。)

商品コード	11023307	品名	タイネツシンクミタテ
<b>適合する機器の型式表</b>			
RCA-90・91・92・100・100A・	参照		
100B・101・102・104・105・			
106・107・108・900B・901B・			
902B・903B・908B・905・			
959・960・961・962・964・			
965・966・1000・1001			
RC-2966PC・2966S・309S・301S・			
323S・325SE・327SE・328SE・	①		
P30・P301・P325E・P327E			
NT-891・902・913・924・935・			
946・957・968・979・999・			
P2501・P2502			
NRC-S32V6・S32E2・S32E3・			
S32E4			
KGP-D29・D250・297			
RCB-29・30・32			



JIS S 2038  
石油燃焼機器用しん  
品番：1509000619

替しんの型式名	トヨ耐熱しん第27種	種	類	普通筒しん
呼び 寸法	φ85×2.5	からやきの可否	からやき可	

株式会社 トヨトミ

製造 SILVER SIM

1509000619

D-8

## 株式会社 トヨトミ

ホームページ <http://www.toyotomi.jp>  
本社 〒467-0855 名古屋瑞穂区桃園町5番17号  
フューコー ル 0120-104-154  
TEL (052) 822-1144  
FAX (052) 822-2742

### ■特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください)

ここに示した事項は **△注意** を表示しています。

**△注意：** [この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う] [可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。]

### △注意 (CAUTION)

#### ★適合する機器の確認

適合する機器の型式の呼びが合っていることを確認してください。  
予想もしない事故が発生するおそれがあります。

#### ★保護具の着用

機器の分解時は、保護具(手袋など)を着用してください。  
誤ってけがをするおそれがあります。

#### ★高温部に注意

必ずストーブを消火し、ストーブの温度が十分に下がってからおこなってください。  
やけどのおそれがあります。

#### ★乾電池を取りはずす

必ずストーブの乾電池を取りはずしてからおこなってください。  
やけどや感電のおそれがあります。

#### ★廃棄するとき

交換したしんは乾燥させてからビニール袋に入れて廃棄してください。  
廃棄処理の際、予想しない事故が発生するおそれがあります。  
灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになつた販売店にご相談ください。



確認



指示



接触禁止



指示



指示

### お願い (NOTICE)

#### ★しん取り付け後の確認

- しん上下操作をして、しんの上下が円滑にでき、しんの高さが規定寸法どおり均一にそろっていることを確かめてください。
- 対震自動消火装置を動作させて、しんが確実に下がることを確かめてください。
- 点火操作をして、正常に燃焼することを確かめてください。

#### ★変質灯油や不純灯油に注意

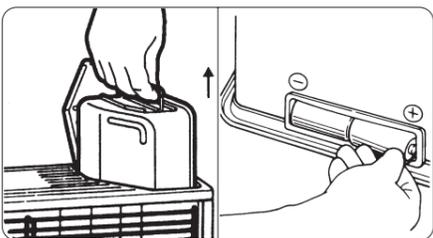
変質した灯油、不純灯油、汚れた灯油、水のまじっている灯油などを使用しないでください。  
異常燃焼や故障(点火しにくくなる、しんが下からなくなる、火が消えなくなる、など)の原因となり、しんの寿命が短くなります。

★この耐熱しんの上端部は、特殊な材料の繊維を使用していますので、糸のほつれ程度を切るだけで先端を「はさみ」などで切らないでください。

★しんを交換したときは、給油後、約20分以上待って、しんに灯油が十分に吸い上げられてから点火してください。十分に吸い上げられていない状態で点火しますと、しんを傷めます。

### ■RCA-101 のしんの交換のしかた

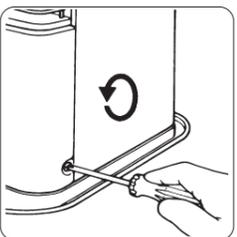
1 油タンクを取り出し、乾電池を電池ケースから取り出してください。



2 「スピード消火ボタン」を押して、対震自動消火装置を動作させてから、ガードを開きます。脱臭フィルターのアームを少し持ち上げて燃焼筒を取り出してください。



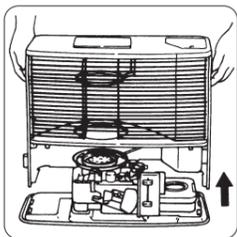
3 本体の両側面にある止めねじ(2本)を取りはずしてください。



4 前板の両側面のツメを体の溝からはずしながら、下に引くように取りはずしてください。



5 本体背面の止めねじ(1本)を取りはずしてから、本体をゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。



6 以降は、1ページの5項から4ページ21項を参照して、しんを交換してください。

7 本体をかぶせ、前板を取り付けてから、ねじ(3本)で固定します。

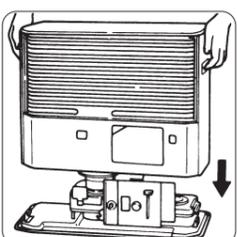
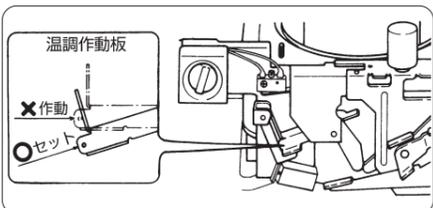
8 燃焼筒を正しくセットし、ガードを閉じてから油タンクを入れます。油タンクに給油してから20分以上待って、しんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、脱臭フィルターや各部がスムーズに作動し、正常に燃焼することを確認してください。

4ページより続く

22 対震自動消火装置の感震部を押して、対震自動消火装置を動作させてから、本体をかぶせてください。

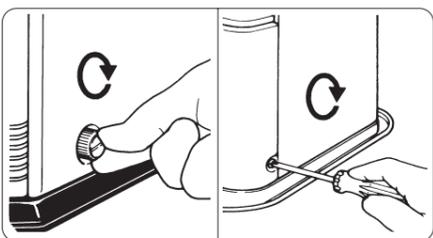
■2ページの8項でコードをはずしている場合はもとどおりに差し込んでください。

■省エネセンサーを搭載の機種は、温調作動板がセットされていることを確認してから、本体をかぶせてください。

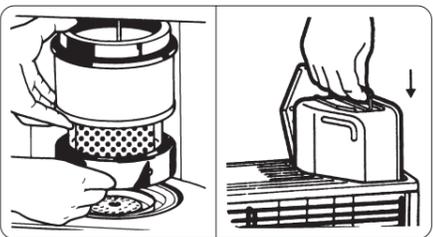


■「温調作動板」がセットされていないと、省エネセンサー装置のカラーサインが正しく動きませんので、必ずセットしてから、本体をかぶせてください。

23 本体両側面と背面を、止めねじ(3本)で固定してください。

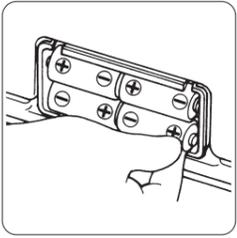


24 燃焼筒を正しくセットし、ガードを閉じてから、油タンクを入れてください。



25 乾電池を、電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。

(例 RCA-107)



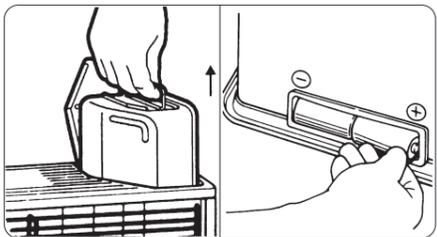
26 油タンクに給油してから20分以上待って、しんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに作動し、正常に燃焼することを確認してください。

●脱臭フィルター付きの場合は、点火操作をしたとき、脱臭フィルターが天板の裏側までスムーズに上昇し、セットされることを確認してください。

適合する機器の型式表の参照①の機種

(RCA-101は裏面6ページ)

- 1 油タンクを取り出し、乾電池を電池ケースから取り出してください。



- 2 ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。

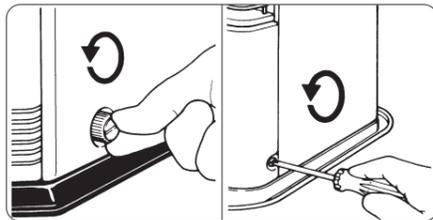


- 脱臭フィルター付きの場合は、脱臭フィルターのアームを少し持ち上げて、燃焼筒を取り出してください。



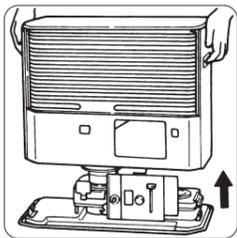
- 3 本体の両側面と背面にある止めねじ(3本)を取りはずしてください。

- タッピングねじの場合は、プラスドライバーを使用して取りはずしてください。



- 4 本体を、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。

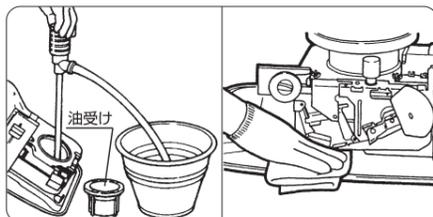
- 取りはずしにくい場合は、本体を少し前側に傾けて取りはずしてください。



- 5 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。

- 残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。

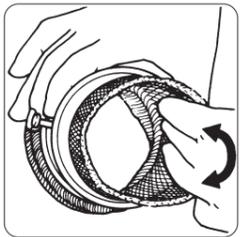
- 置台と油受けざらの隙間のほこり、ごみを取りのぞいてください。



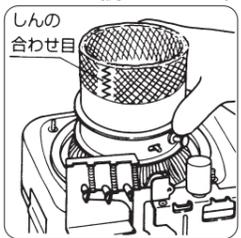
- 12 新しいしんを、軽く4つ折りにするようにして、しんのガイドピンを、しん保持筒の穴に差し込んでください。



- 13 しんを、しん保持筒の内側に指で押しつけながら充分になつかせてください。充分になつかせないと、対震自動消火装置が作動したときに、しんが下がらないことがあります。



- 14 しんの合わせ目が向かって左側になるようにして、しんをしん案内筒に通してください。(例 RCA-108)



- しんの下部を、ハンドルアームの内側に充分になつかせてください。

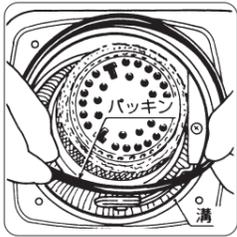


- 15 しん保持筒のガイドピンをハンドルアームの溝に、しん保持筒を右に回してはめ込んでください。

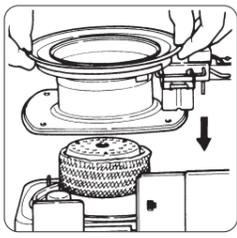


- このとき、ハンドルアームが下がっていたら、しん調節つまみを押し下げ、ハンドルアームを水平にしてください。

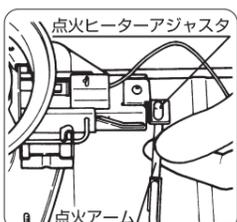
- 16 しん調節器パッキンが、油受けざらの溝に確実に入っていることを確認してください。



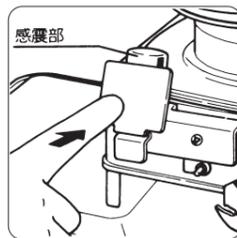
- 17 しん調節器を、もとどおりにかぶせてください。



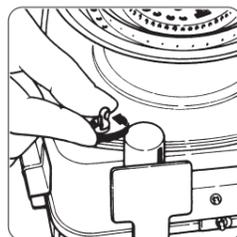
- このとき、RCA-100・100A・100Bは、点火ヒーターアジャスタの穴に、点火アームの先端が入るようにしてください。



- 6 対震自動消火装置の感震部を押して、対震自動消火装置を作動させてください。

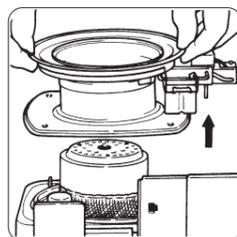


- 7 しん調節器の蝶ナット(4本)を取りはずしてください。



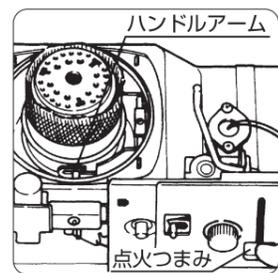
- 8 しん調節器を、ゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。

- このとき、点火装置のコードを引っ張らないように、ゆっくりと取りはずしてください。作業しにくい場合は、コードを電池ケース等からはずしてください。



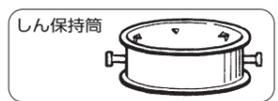
- 9 点火つまみ(またはしん調節つまみ)を押し下げ、ハンドルアームを上げてください。

- このときハンドルアームが、ほぼ水平の位置にあることを確認してください。



- 10 しん保持筒を持って、ハンドルアームの溝からしん保持筒のガイドピンを左に回して取りはずしてください。

- このとき、抜け止めのために、少し重い箇所がありますので、指を滑らせてケガをしないように、慎重におこなってください。

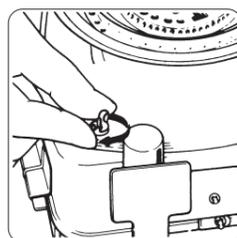


- 11 古いしんを4つ折りにするようにして、しんのガイドピンを、しん保持筒からはずしてください。

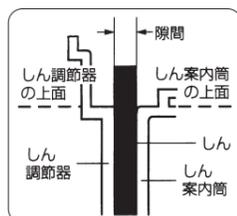


- 18 しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、しん調節器の蝶ナット(4本)を対角線上に各々2本ずつ均等に締めてください。

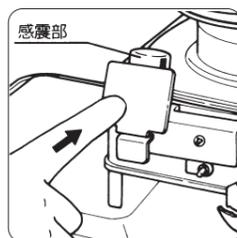
- 片側を締め付けるのではなく、4本を均等に徐々に締めてください。



- 19 しん調節器の上面としん案内筒の上面(燃焼筒ののる面)の高さが、揃っていることを確認してください。(揃いが悪いと炎が片燃えします)

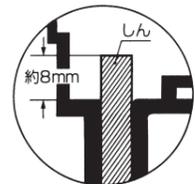


- 20 しんを上げてください。対震自動消火装置の感震部を押して、対震自動消火装置を作動させ、しんがスムーズに確実に下がるかどうか、2~3回確認してください。



- このとき、しんがスムーズに完全に下がらないときは、しんのなつかせかたが悪いからです。もう一度3ページ13項からやり直してください。

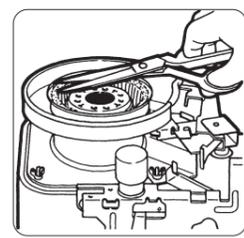
- 21 しんをいっぱい上げたとき、しんの高さは標準(3ステップでるるる①の高さ)で約8です。しんの高さが全周ほぼ揃っていることを確かめてください。



- しん高さ確認ゲージを使用して、しんの高さを確認してください。



- しん上端の糸のほつれなどは、はさみで切りそろえてください。



しん高さ確認ゲージ  
しんの高さを測るときは破線の部分で切り取ってください。

(裏面5ページに続く)

8mm  
0mm